#### Chick Corea: Plays Standards

Song 1.My One And Only Love 2.Pannonica 3.Green Dolphin Street 4.Someday My Prince Will Come 5.So In Love 6.Bessie's Blues 7.I Hear A Rhapsody 8.Round Midnight 9.Caravan(with G Rubalcaba) 10.Someone To Watch Over Me 11.Stella By Starlight 12.It Could Happen To You 13.Spain Recording Now He Sings He Sobs

Acoustic Band

Trio Music

Rendezvous In N.Y. With G Rubalcaba Stella By Starlight Jazz For A Sunday Afternoon Vol.2 Origin Solo Piano Originals 月刊スタンダード



11

「ナウ・ヒー・シングス、ナウ・ヒ

### CHICK COREA 巧みなコード・ワークを盗め AND ONLY LOVE

"月刊スタンダード"今月のスコアは、60年代後半にチック・コリアが残した 『ナウ・ヒー・シングス・ナウ・ヒー・ソブス』のCDに追加収録されている、 「マイ・ワン・アンド・オンリー・ラヴ」だ。独特の美しさと緊張感を生み出す彼のヴォイシング、 巧みなコード・ワークを追いながら、じっくりと取り組んで欲しい。







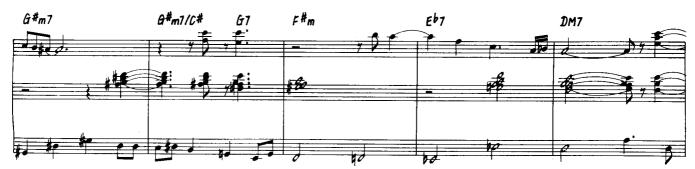












С. г.





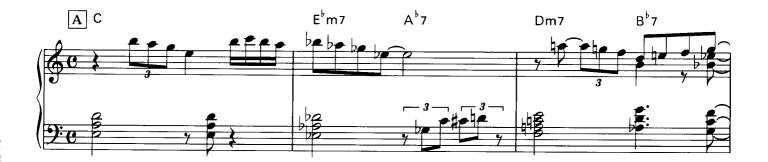






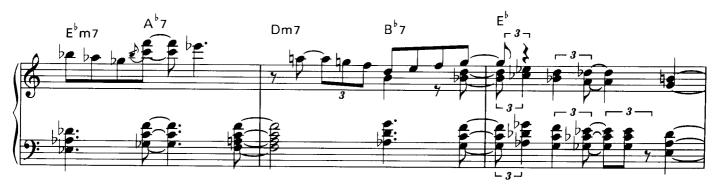


Music by Thelonious Monk







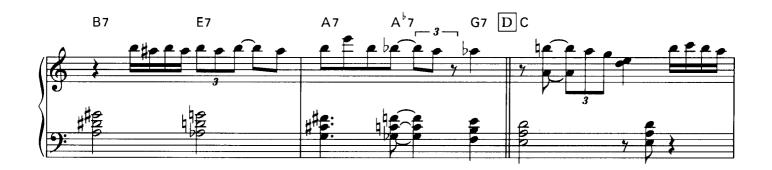


© by THELONIOUS MUSIC CORPORATION Rights for Japan assigned to Watanabe Music Publishing Co., Ltd.

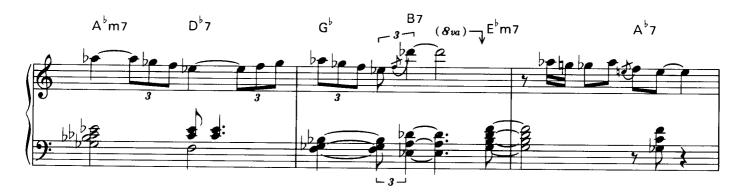














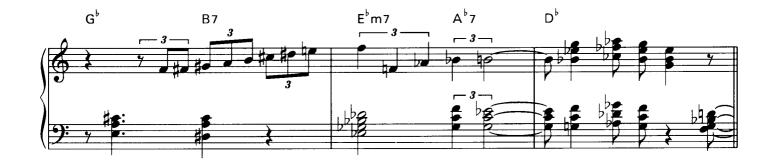


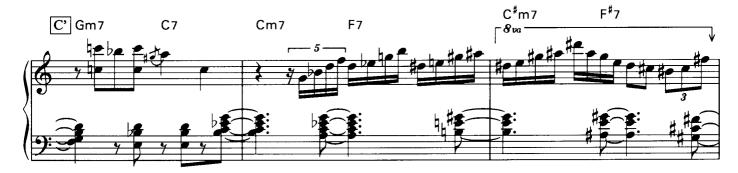


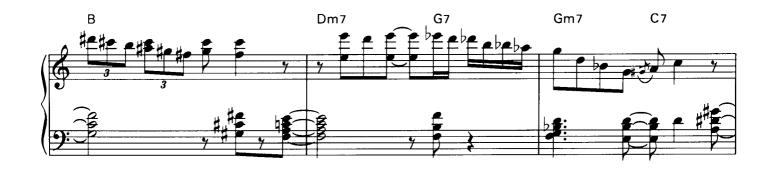


I

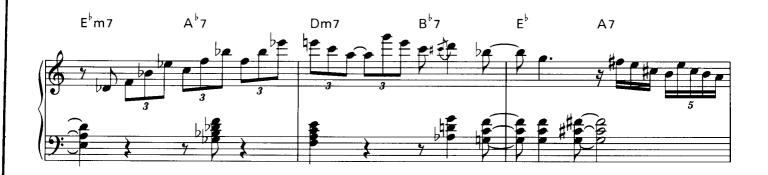














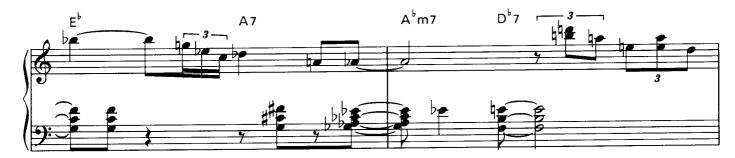






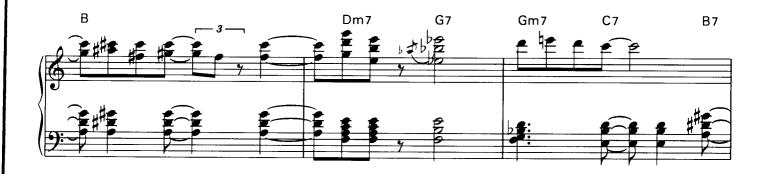




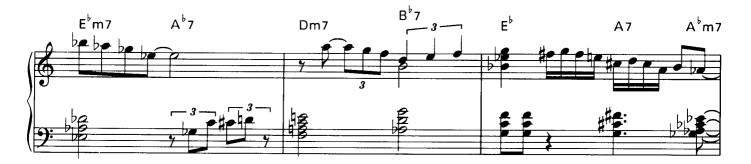




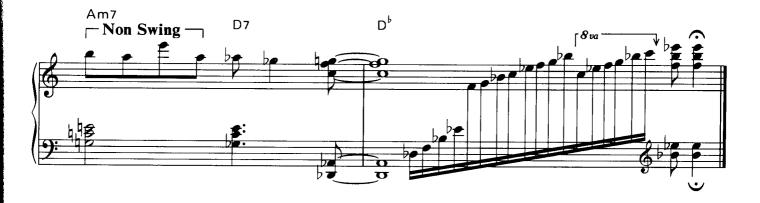












「ラウンド・ミッドナイト/チック・コリア・アコースティック・パンド」(ビクター音楽建業 VIC ↓-47)1月21日発売

# "On Green Dolphin Street"

アコースティック・バンドによる「オン・グリーン・ドルフィン・ストリート」

チック・コリア・アコースティック・バンドの新作『ラウンド・ミッドナイト』 より、「オン・グリーン・ドルフィン・ストリート」のピアノ&ベース・スコア だ! 譜面は、イントロからベース・ソロまでの部分。スタンダードをチック がどう料理しているのか、たっぷり研究してください。

ルバートの部分に一貫して流れるのはB<sup>b</sup>と E<sup>o</sup>の音です。このふたつの音を基本に、たと えばB<sup>s</sup>sus4、E<sup>b</sup>m9/B<sup>c</sup>、E<sup>b</sup>m11、Fdim/B のようなサウンド(もっともチックはコード ではなくて、ラインでとらえているでしょう が…)で、思いつくままに弾いているのでし ょう。ただ、これをあらためて弾く場合、お そらくチックがしていたようにB<sup>b</sup>とE<sup>b</sup>の音を 頭の中で鳴らしながら(もちろん実際にシン セを鳴らしてもよい)弾くと、よりいっそう 興奮が増すでしょう。

そんなこんなで、リズムが出てテーマに入ったと思ったら、メロディがほとんどなく、 お茶目なチックの遊び心がマンカイして、い きなりウカレテしまいます。20010~12小節 日の"ハラヒレ"スケールは、13小節日のD<sup>9</sup> 7sus4(A<sup>e</sup>m7)へ行く前に、11~12小節日でE m7-A7という軽いサシコミをしているという よくある手ですね(譜面上の★1)。3の10~ 12小節目(★2)も同じやり方です。

次はジャズの醍醐味! 3 の29小節日 (★ 3) で、チックの左手、ベース、ドラムが、 ピッタリはまっているのには、実はわけがあ るのです。譜面では読み取りにくいのですが、 この1コーラス前あたり2の30小節目でチッ クが、31小節目でパティトゥッチが、それぞ れ「4ビートへ行こうよ」と言っているのに 対して、32小節目でウェックルが「まだだよ ~ん」と返答しています(★4)。これをふま .えて、③の17小節目でチックが再度「4ビー トに行こうか」と言って (★5) 3の29小節 || (★3) につながるわけです。6の29小節 目の場合も、[6]の25小節目でチックが「終わ るよ」と言い、6の28小節目の4拍目のB<sup>e</sup>音 でそれを決定づけているので(★6)、全員迷 わずしてシカケに入れるわけです。もちろん チックの \*顔" もその時のキメ手になるので しょうけどね。

●解説:青柳 訓

×6 @

Piano

Rass

④の17小節目(★7)のような、トニックを ケムに巻くようなこともよくやりますね。⑥ の31小節目(★8)、③の10小節目(★9)など も同じように、予定のハーモニーを数拍遅ら せることで、一種独特のタイム・テンション が生まれています。

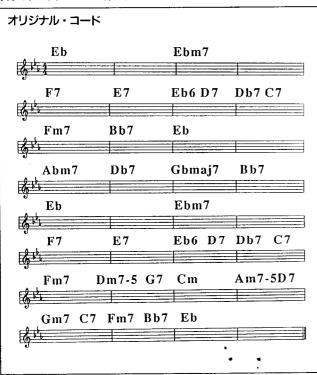
まあ、なんだかんだ言ってもアナライズ= 結果論であり、分析しながらピアノを弾ける ものではありません。たとえば、④の7~8 小節日の2拍日まで、この音形で降りてみた ら、④の8小節日の3~4拍日で、F、Gの 音に運よくいきあたり、ここをB7のサウンド に決定づけて次の小節へ行けた!!というとこ ろ(★10)や、505~7小節日などドラムに 触発され、大胆なフレイズを出したが、8本 節目ですんなりきれいに着地できた!!という あたり(★11)、糸口は案外そのあたりにある と思います。

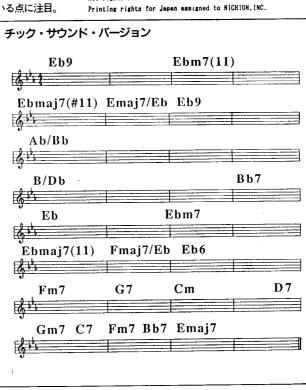
#### ●チックの「オン・グリーン・ドルフィン・ストリート」をコードで見ると…●

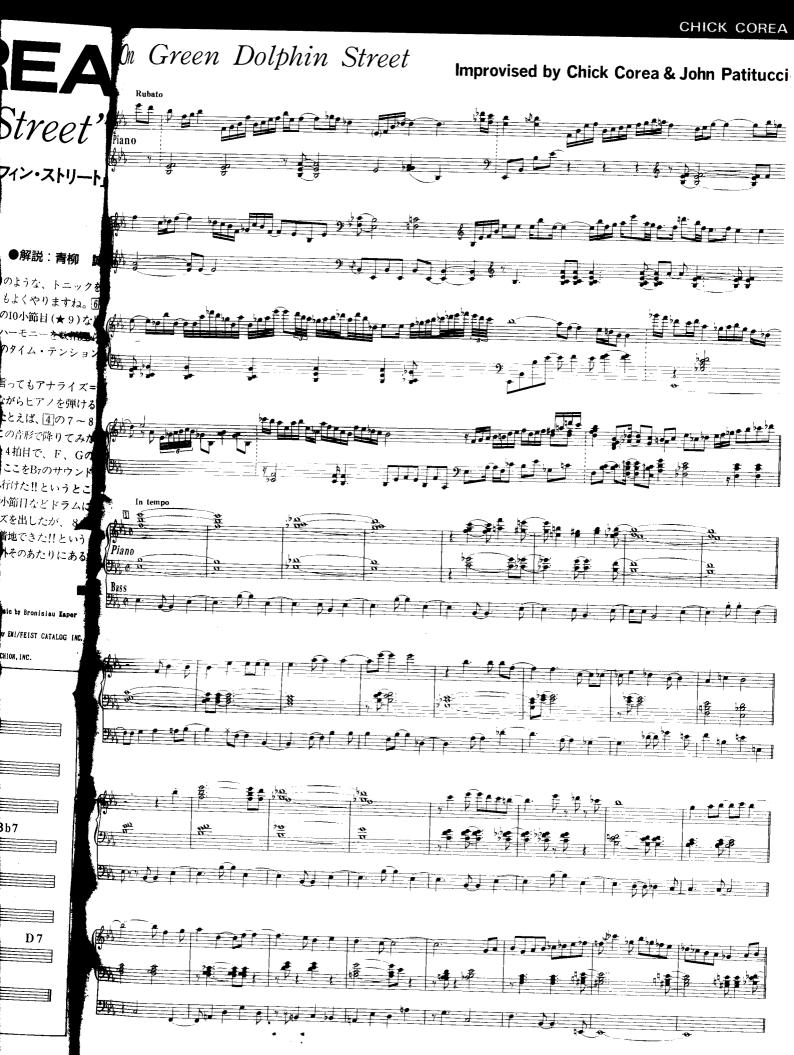
左の一般的なオリジナル・コードをもとにチックたちがプレイした結果を、おおまかにまとめると、右の ようなコード・サウンドになります。全体にsus 4系というか完全4度重ねを多様している点と、最後の2 小節でトニックのE<sup>™</sup>1に行かずにサブ・ドミナント・マイナーのE<sub>Δ7</sub> (p II\_Δ7) に行っている点に注目。

ON GREEN DOLPHIN STREET Music by Bronisiau Kaper (c)1947 by METRO-GOLDWYN-MAYER INC.

Rights throughout the world controlled by EMI/FEIST CATALOG INC. All rights reserved Used by permission Printing rights for Japan assigned to NICHION.INC.







TRANSCRIBED BY O. MINATO & T.NITTA 61

#### CHICK COREA















On Green Dolphin Street



Assessed





















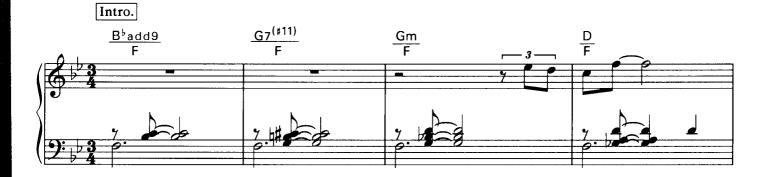


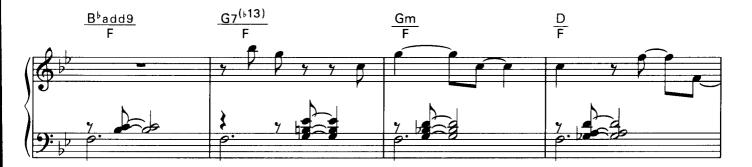
CHICK COREA

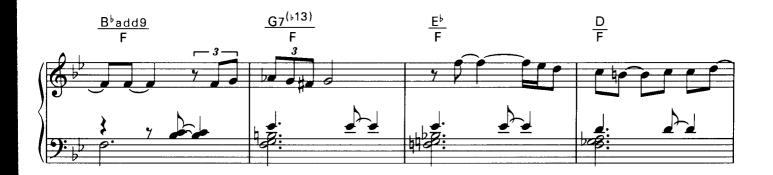


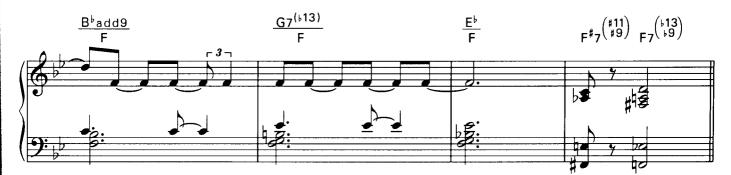
## Someday My Prince Will Come

Words by Larry Morey/Music by Frank Churchill







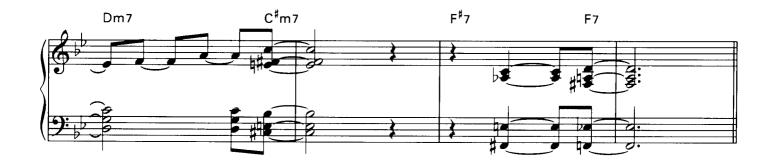


© 1937 by BOURNE CO. (copyright renewed) All rights reserved. Used by permission Authorized to NICHION, INC. for sale only in Japan.



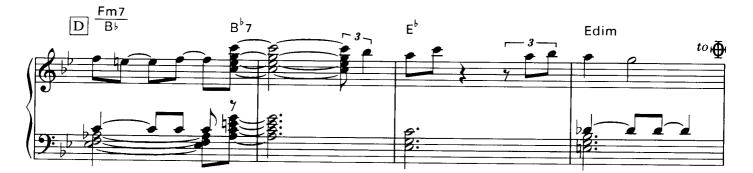


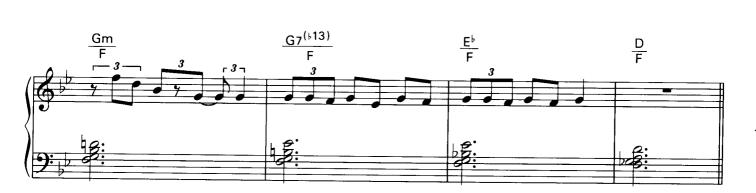


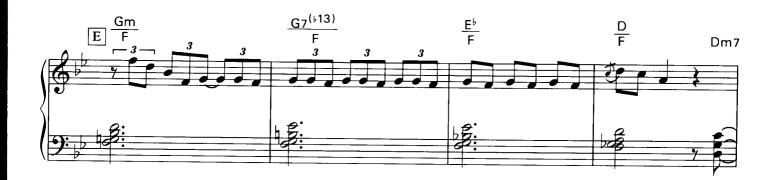


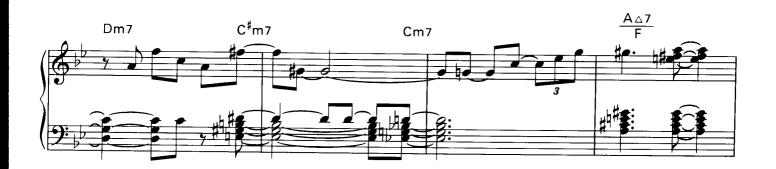


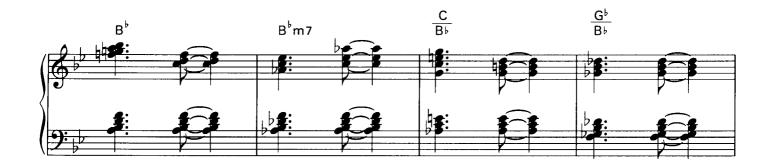














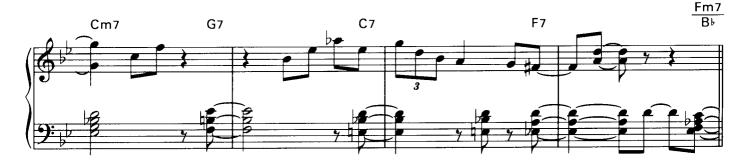


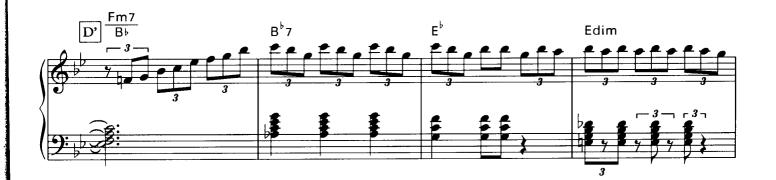




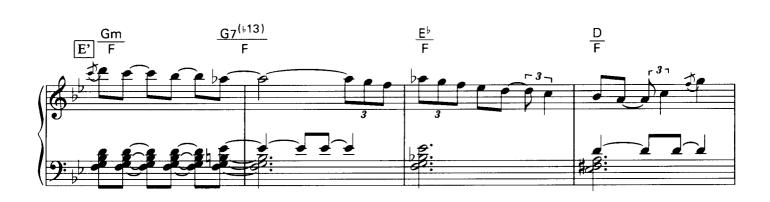




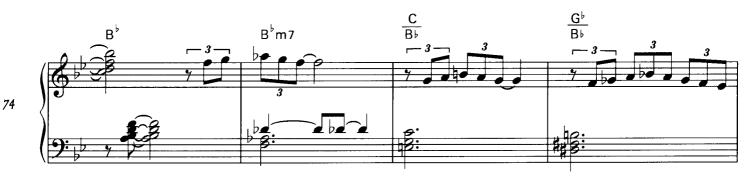


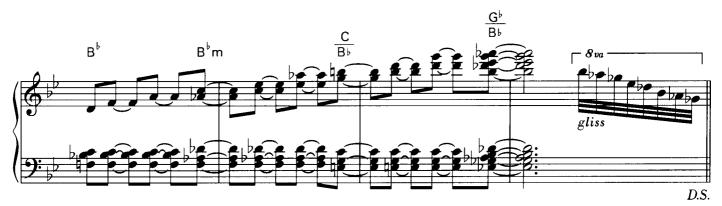


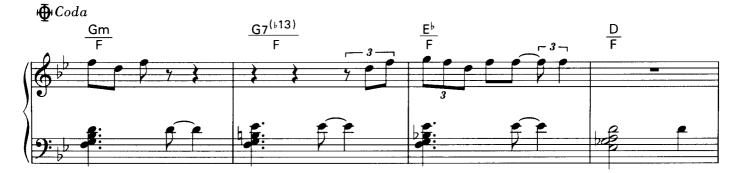


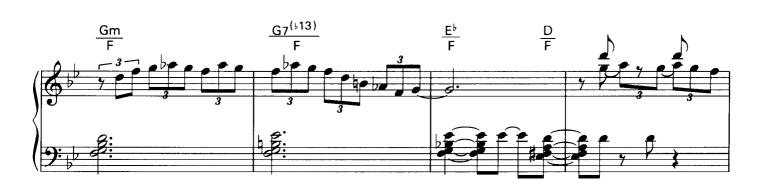




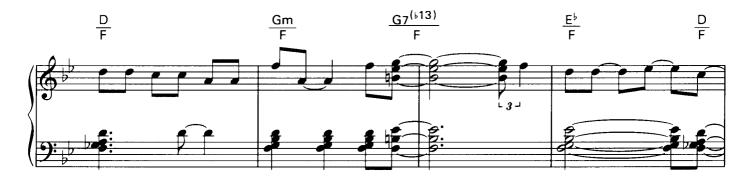


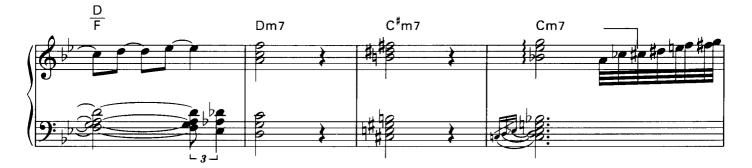


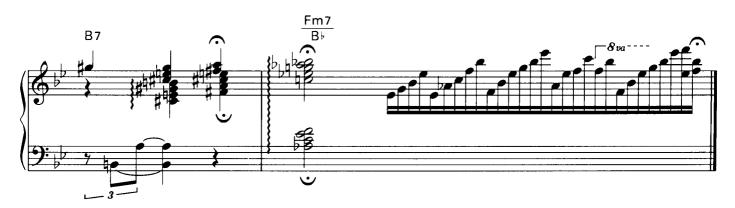




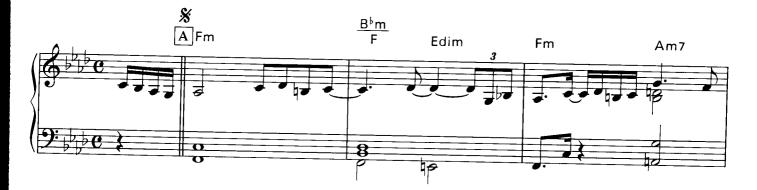


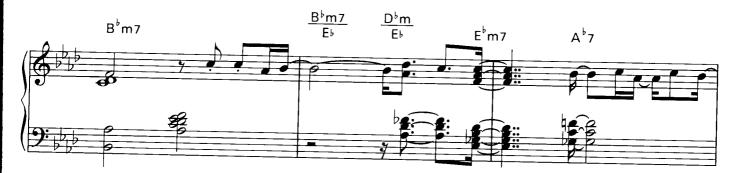








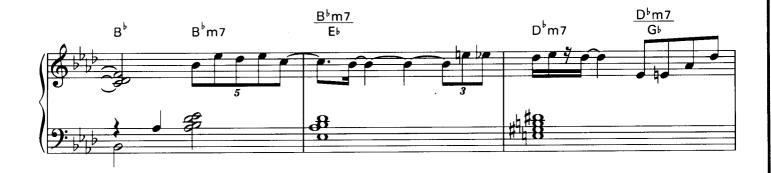


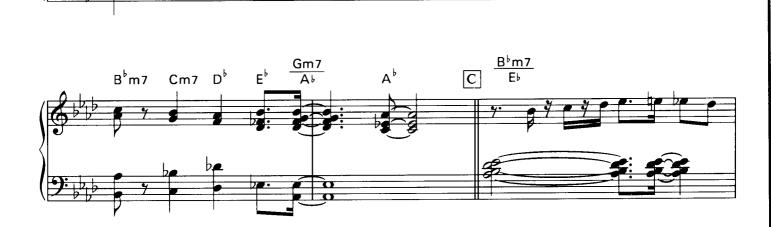




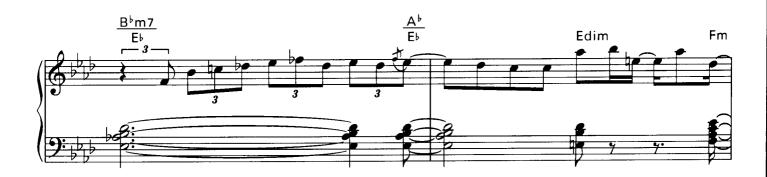


<sup>© 1948</sup> by BUXTON HILL MUSIC CORP. All rights reserved. Used by permission. Print rights for Japan assigned to YAMAHA MUSIC FOUNDATION



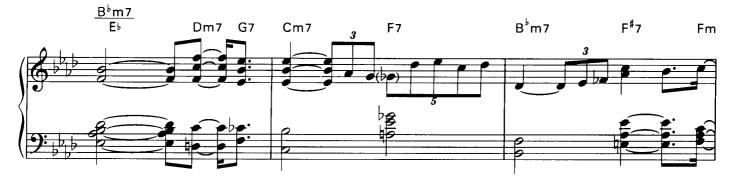
















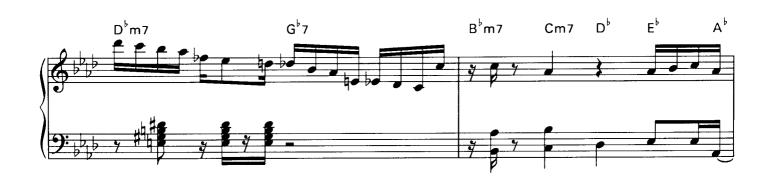


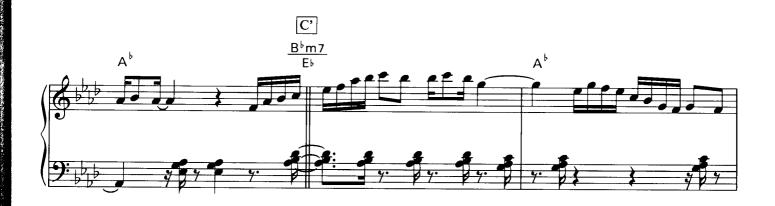


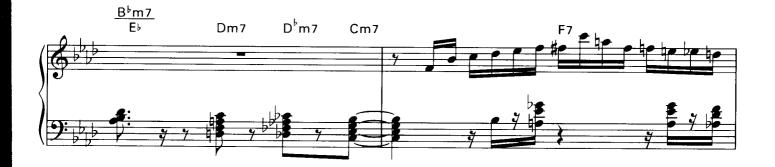










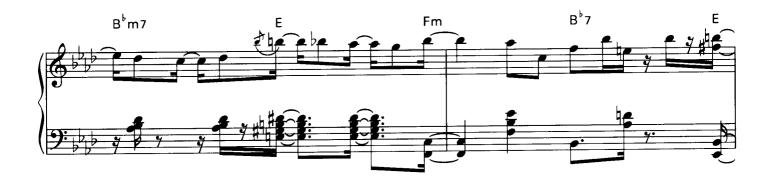






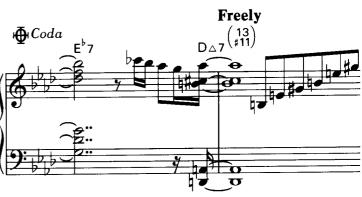
















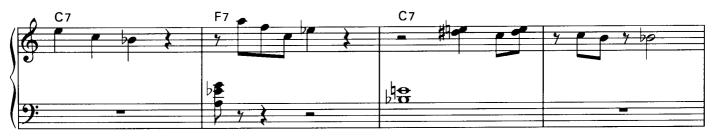
Music by John Coltrane





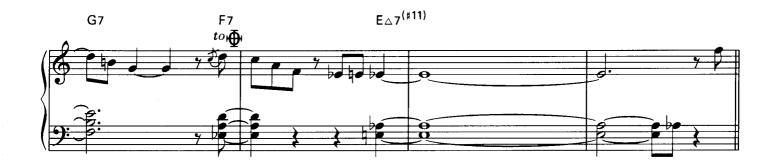




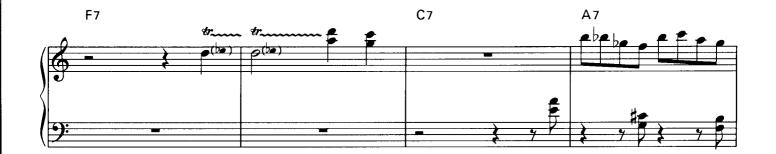


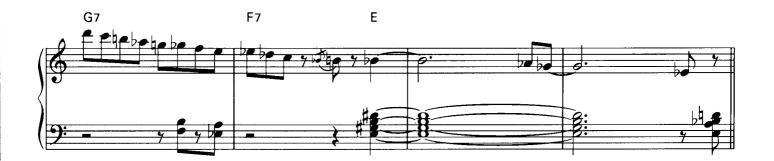
© Copyright by Jowcol Music The rights for Japan licensed to Sony Music Publishing (Japan) Inc.







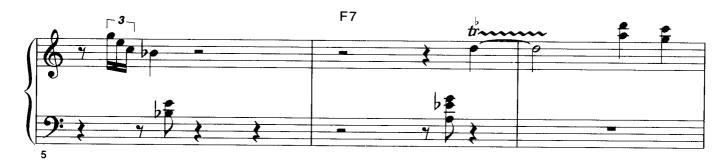




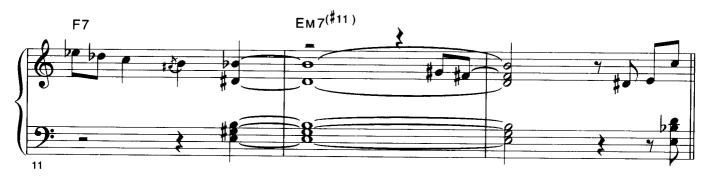
## Chick Corea

Improvisation from "Bessie's Blues"



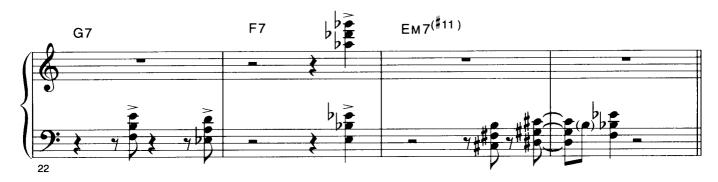










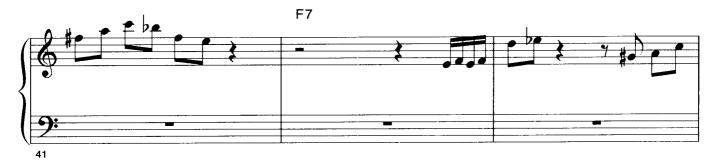








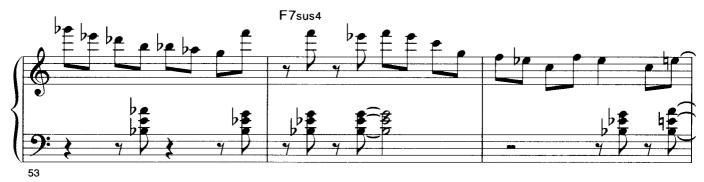






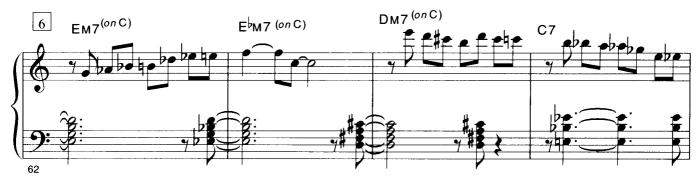










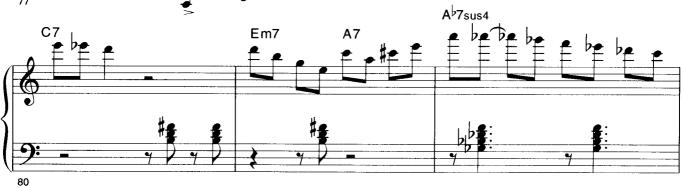








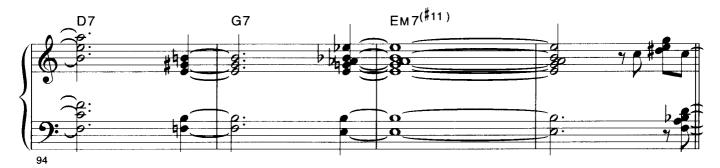


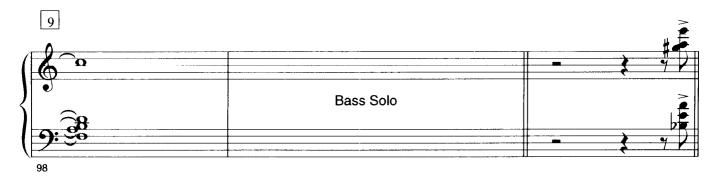








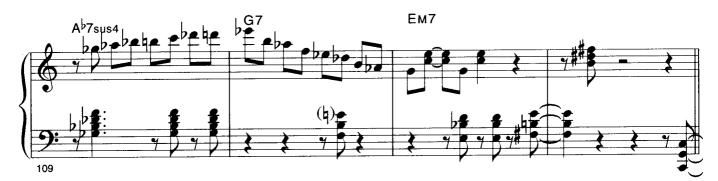










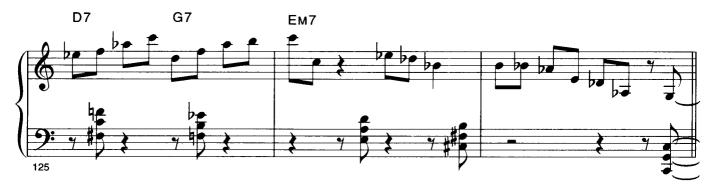


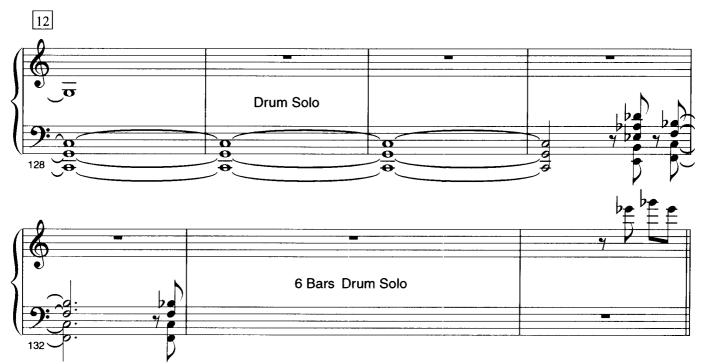


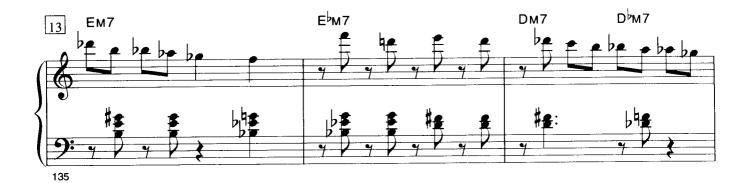






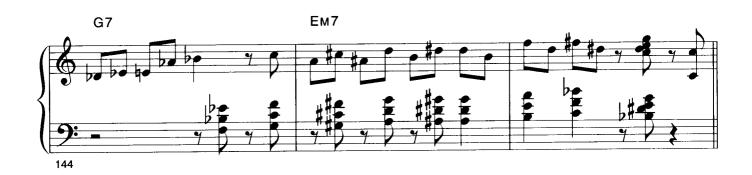




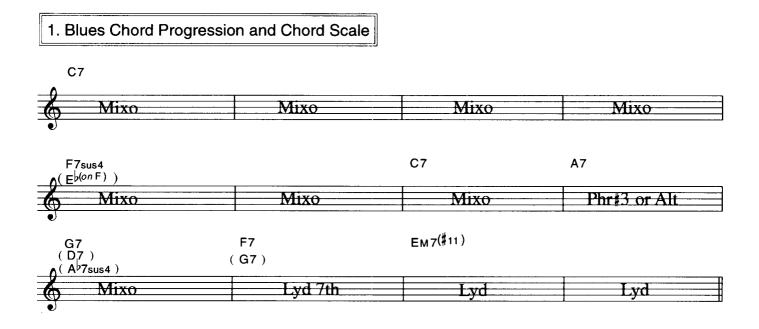








## Chick Corea "Bassie's Blues"



2. Improvisation Advice

コルトレーンのアルバム『Crescent』 (Impulse A-66 Toshiba EMI IMP 88097) で演奏されている"Bessie's Blues"を、チック・コリアが現代的な 解釈で演奏している。

テーマの11小節目は、伝統的なブルースではTonic(主和音)になるのが 普通であるが、チック・コリアはTonicを避け、IIIM7<sup>(#11)</sup> (EM7<sup>(#11)</sup>)に 流れているのが特徴的だ。

また、IV7(F7)が IV7sus4(F7sus4 又は E<sup>b(on F)</sup>)に解釈され、improvisationが展開されている。II7(D7)が代理コードの A<sup>b</sup>7 に変化し、A<sup>b</sup>7 は A<sup>b</sup>7sus4 へ、そして A<sup>b</sup>7sus4 から E<sup>b</sup>m7<sup>(9)(on Ab</sup>)に変化している。

## C.COREAPLAYS DARDS N STA ・ド・フ ・チ研究 EAR A RHAPSODY)





1 1 4

1

7 5 2

7 6 2

















# C.COREAPLAYS STANDARDS (I HEAR A RHAPSODY)







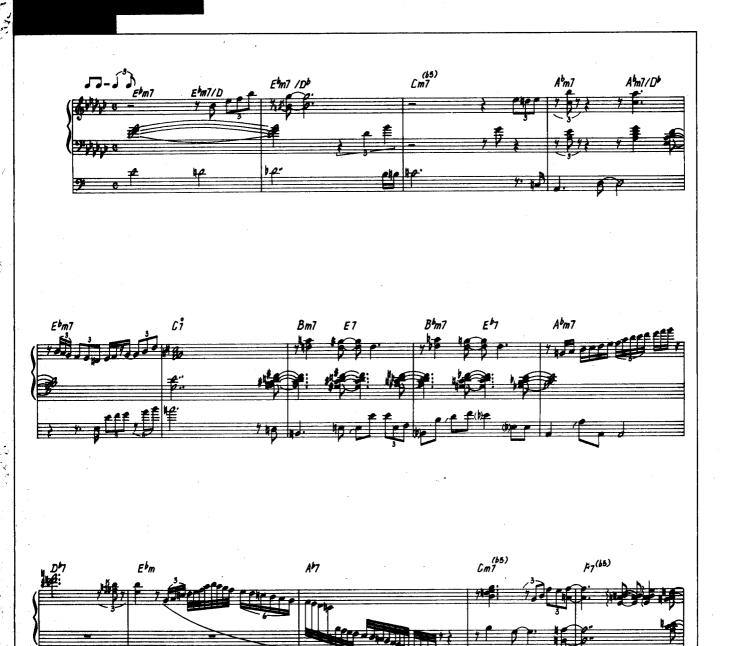






TRIO MUSIC CHICK COREA MIROSLAV VITOUS ROY HAYNES

**「トリオ・ミュージック」** チック・コリア(p) ミロスラフ・ヴィトウス(b) ロイ・ヘインズ(ds)

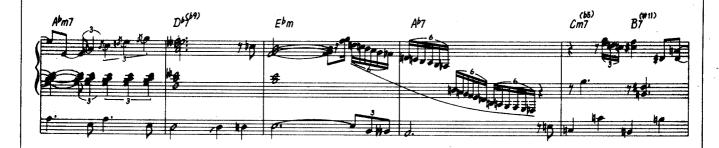


CMCMXLIV by Advanced Music Corporation Right for Japan administerd by WARNER BROS. MUSIC(JAPAN)INC: 96NICHION, INC. Chick Corea

5











OUND MIDNIGH





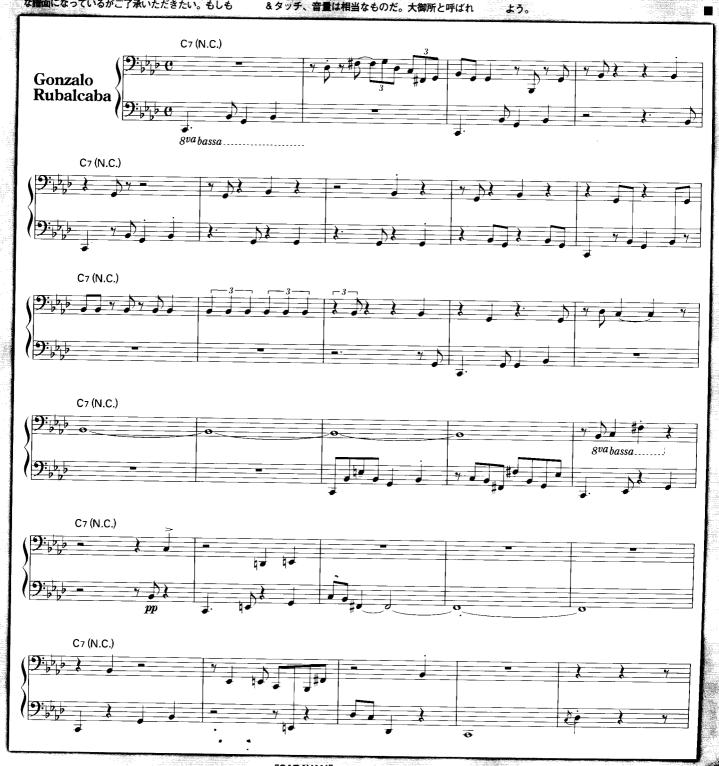








ピアノ・デュオ・スコア ・コリア&ゴンサロ・ルバルカバ ク DVD BOX』から。天才同士のピアノ・デュオが眼前に展開される 「ランデヴ - -収録DVD『ランデヴー・イン・ニューヨー ク DVD BOX / チック・コリア』(DVD 9 枚組。ジェネオン GNBJ-1001 2月4日 リリース) チック・コリア&ゴンサロ・ル キャラヴァン 採譜·解説: 松井玲央〈seventh〉 バルカバのデュオ映像は、Disc7に収録 チック・コリアとゴンサロ・ルバルカバが、ふた 4拍子だったらゴメンナサイ。 ても、その若手ゴンサロとのバトルに、守りに入 りで弾きまくっている……。はてはてこれは何をど この際、かのフランク・ザッパ(g)の「どうせすべ ることなく応戦するチック。そこにチックが音楽 うやって演奏しているのだろうか。最初は4拍子の ての音楽は1拍子だ」説を採用したくもなるが、伴 を新しくしている理由があるような気がした。チ ようだけれど……、「あれ?」ノリにくい箇所があ 奏のゴンサロがタイムや拍子の主導権を取ってい ックの音は左チャンネルだけにするとなかなか鮮 る。これは、恐らく1拍の長さだけは共通のものと るようなので、できるだけ彼の意図を汲み取ったつ 明なので、クラスターなどに興味のある人は研究 して、その上で拍子はアバウトに、しかしお互いに もりで表記してみた。ゴンサロは3拍子や5拍子が してみてはいかがだろう。トリオ編成とは違って、 反応するスタイルで演奏しているのではないだろう 好きで、チックは4拍子が好きなような気がしない オクターヴや両手でひとつの旋律を弾いているこ か?よって1小節ごとに拍子が違う、という大変 でもないが、それはさておき、ゴンサロのスピード とが多いので、お互いのスペース作りにも注目し な諸面になっているがご了承いただきたい。もしも



"CARAVAN" Words by Irving Mills Music by Duke Ellington, Juan Tizol © 1937 by EMI MILLS MUSIC INC. OLD ACCT All rights reserved. Used by permission. Print rights for Japan assigned to YAMAHA MUSIC FOUNDATION

# **Chick Corea & Gonzalo Rubalcaba**





# **Chick Corea & Gonzalo Rubalcaba**





E







特別 (コロ) コピー開 "Someone To Watch Over Me" チック・コリア(p) サムワン・トゥ・ウォッチ・オーヴァー・ミー words & music by Ira Gershwin, George Gershwin

### ソロ・ピアノで珠玉のスタンダードをプレイする

チック・コリアのソロ・ピアノは、透き通っている。 そして我々は、久々にチックの透明な世界に入り込むことができるのだ。 新作『星影のステラ』(MCAビクター)は、チックがアート・テイタム(p)に捧げたソロ作品。 重ねた歳の味わいがしみこんだ、哀愁漂う数々のスタンダード。 今回は、このアルバムの中からジョージ・ガーシュウィンの佳曲、 「サムワン・トゥ・ウォッチ・オーヴァー・ミー」を取り上げた。 ルバートの部分がかなり長いが、ここが気持ちの込めどころだ。

#### 採譜·解説 = 港 大尋



【星影のステラ/チック・コリア】 (MCAビクター MVCRJ-181)

SOMEONE TO WATCH OVER ME by Ira Gershwin , George Gershwin © 1926 by NEW WORLD MUSIC CO., LTD. All rights reserved Used by permission Rights for Japan administered by WARNER/ CHAPPELL MUSIC, JAPAN K.K., c/o NICHION, INC.

#### チックの精巧頭脳アレンジ

紙面の都合で全コーラスを載せること ができなかったが、この2コーラスだけ でも充分、チックのエッセンスを堪能で きるはず。というのも、全部で3コーラ スという、短い演奏だから(といっても 6分もやっている)。

全体をコピーしてみると、これはよく 考えてアレンジしてあるな、ということ がわかる。実際に音を出すとよくわかる が、基本的にテンションの使い方は、ル パートでもイン・テンポの部分でも変わ りなく、とても整理されている。ことに 左手は、リピートしているように聞こえ るほど、そっくりそのままだ。そのあた りの几帳面さはチックならではなのか も。

では、読み手にとっても書き手にとっ てもやや骨の折れる作業ではあるけれ ど、気になるところをピックアップして アナリーゼしていこう。 ■頭のメロディの4度重ね。これはペ ンタトニックのメロディをうまくアレン ジしたもの。いかにもチック、である。 そのちょっとあとの6小節のハーモ ニー。これはどのコーラスでも繰り返さ れていて、非常にオイシイところであ る。A<sup>b</sup>m7ではD<sup>b</sup>を入れて、ややテン ションを高めるが、それを右手で"レソ ドミ"と弾くところが気持ち良い。そう した、両端が9度になるハーモニーは、 ペイシーなども使っていて、やはり伝統 に拠っているなと思う。

その後の2つの4分音符は、ドビュッ シーぼい美しさが滲み出るところであ る。メロディをしっかり弾いておいて、 ハーモニーはゼヴンスの第3転回形を平 行移動させるというもの。なんともいえ ないフワフワとした色彩が現われる。

ところで、その2つのコードの後者 が、サビ前(最初から数えると15小節 目)では、ちょっとした変化をする。こ のあたり、憎い演出である。

直後のサビのコードも大胆である。本 来A<sup>b</sup>△になるところがE<sup>b</sup>△7の+5と

### 【解説】

いうコードで、聞けばごく自然に聞こえ るけれども、こうしてコピーしてみる と、変なの……と思ってしまう。これは よく考えると随分おかしいが、そこが実 は良いところなのだろう。

イン・テンボに入るところのイントロ (最初の4小節)。ここほど奇麗なとこ ろはない(と勝手に思っている)。記号 で言えば、|-|||<sup>5</sup>-V<sup>15</sup>-|.....という図 式になるだろうけれど、そんな説明では 失礼なほど、ここはいい。まあ、これこ そチック節なのだろう。キースもやりそ うだけど。

歌ナカのハーモナイズもおもしろい。
E ▷ をペダル音にして、その上のコード
を半音ずつ降ろしていくやり方である。
常書手段だが、このメロディに対してそういうクリシェを使うのは、やはり大胆であるとは言える。

そのサビの途中(最後から数えて26小 節目)におかしな符割がある。これは、 はっきりわからないけれども、ミスのよ うな気がする。どうも、その前のG7の ところから、半拍分ずれてしまったよう な感じで、やや無理をして楽譜にしてみた。わざとやっているのならビックリだけれど……。でも、よく聞いていないと全然わからない……。

コードネームはやはり無理やりつけて みた。どうしてもコードネームでは書け ないところは空欄にしてある。あくまで 原曲に忠実にやっているところと、全然 そうでないところとあって、興味深い。

そうでないところというのは、E<sup>b</sup>に 対する半音上のEメジャー系のコード、 つまりII<sup>b</sup>である。そこから派生するBと かG<sup>b</sup>、Dなどが特にルバート部分で多 用される(別の言い方をすれば、これは IVマイナー系になる)。

採措した時に、これはシャープで書こうか、フラットで書こうかと迷ったところがあくさんあって、読みづらくなって しまったかと気がかり。皆さま、怒らないでください。チックのリハモがちょう ど微妙なところなので、そのせいです。 また、ルバート部分の符割も随分わかり にくいはずだけれども、聞きながら見て 下さい。





## Р(р) **А**

大尋



コリア**」** IJ-181)

TD. WARNER/ HON,INC.

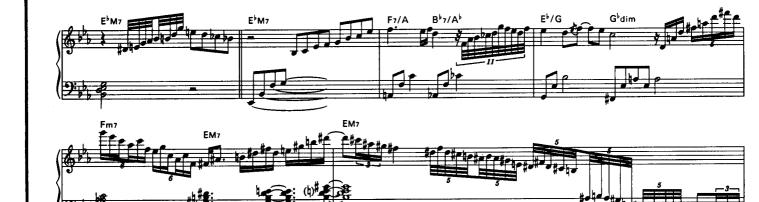
してみ パクリだ いないと

。これは フで書こ

ったな怒ちでわられていたから、かいかがいのからのから、ないのかいのかが、ないのかいのかが、それでいたのです。



















### 特別 (コロ) コピー離 "Someone To Watch Over Me"

















## **Chick Corea**



Ţ

.....

\_

B⊧

\_















Stella By Starlight ・バイ・スター

JAZZ PIANO ヤングの作曲によるもので、これ ビクタ までに数多くのジャズ・ミュージシャンにも演奏されてきたスタンダード・チューンである。 キイはB'メジャーで,曲の構成は,ABCAで できている。 ここでは、チック・コリアのソロを採譜した

していた、テック・ド曲を演奏しているのは多 が、彼がスタンダード曲を演奏しているのは多 しく、なかなか興味深い。ピアノ・ソロの最初 の2コーラスしか載せる事ができなかったが、

レコードでは7コーラス演奏している。 ソロの内容は、全体的に、5音階からの発想 を中心にインプロヴィゼイションをまとめてい る。5音階を中心にしたメロディー・メーキン グは、7音階のそれよりも、コードによる制約 から自由になり、リズムやメロディーが自由で 大胆な演奏ができる。このソロでチックの左手 のコード・バッキングは、オーソドックスな押 さえ方ではなく、4度のインターバルを利用し

●作曲 Victor Young チック・

たバッキングを行っている。譜面にはコード・ ネームを記しておいたが、チックがどのように コード・チェンジしているかは各自研究してい ただきたい。なお、詳しくはリットーミュージ ック社発売の「チック・コリア・ジャズ・ピア ック 仁元元の「テック・コック・シャス・ピア ノ奏法」を見ていただきたい。 (大森研作) ■レコード・ガイド:アルバム『ジャズ・フォ ー・ア・サンディ・アフタヌーン Vol.2』(キン ∥ LAX-3155)













•



1

¥.



©1946 by FAMOUS MUSIC CORP. Authorized to NICHION, Inc. for sale in Japan, South Korea&Formosa.

Words by Johnny Burke Music by James Van Heusen

VA

T T

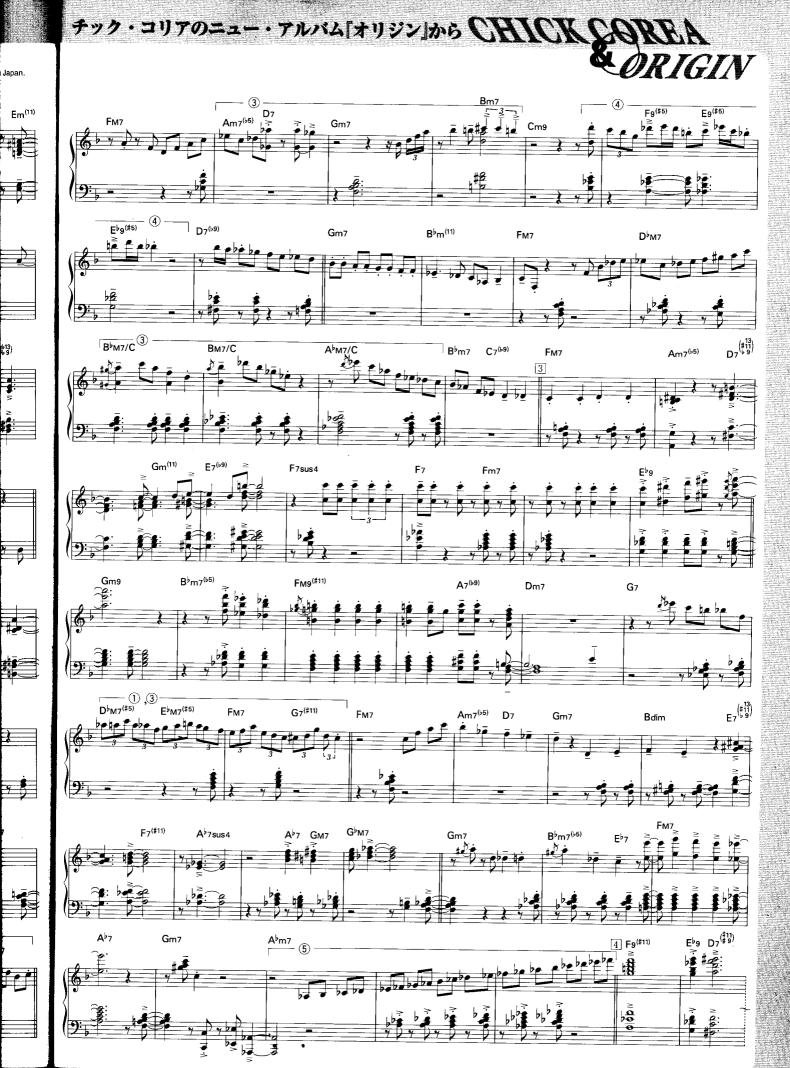
© 1944 by FAMOUS MUSIC CORP.

All rights reserved. Used by permission. Authorized to NICHION, INC. for sale only in Japan. Ą



**MANDANA** 

T





#### 採譜:鈴木典子/解説:石澤功治 [Seventh]

楽曲に対して常に新鮮でいられる。これかいかにアー ティストにとって大切なことかは、今さらここで言うま でもない。しかし、多くの芸術家がマンネリズムと闘っ ているというのも厳然たる事実で、先ほどのことを日々 実践していくのが、いかに困難極まるかの裏返しであろ う。この「スペイン」が1972年にレコーディングされて 以来、チックは恐らく今日まで何百回、いや何千回とこ の曲を演奏してきたであろう。しかし、ここでのソロ・ ピアノによるプレイが全く新鮮さを失なっていないのは 驚きである。改めてチックの"凄さ"を実感してしまった。 請面は右手によるメロディの断片を軽快に弾き出すと ころからだが、正確な場所はCDタイムを記しておいた。 テンポはフリーになったりイン・テンポになったり、ま た、テンポの速度も自由に変えているので、その辺は実

(ユニバーサル クラシックス&ジャズ MVCL-24023)

際にCDを聴いて参考にしてほしい。ソロということも あり、このプレイからはコードも様々な解釈が可能とな る。ここではひとつの例として入れる程度に止めておい たので、各自音符から研究してみるといいだろう。ま た、右手のシングル・ラインの音使いはこれぞチック節 といったフレイズか盛りだくさん。きっとあなたのプレ

CHICK COREA





<sup>66</sup> **"SPAIN"** (Music by Chick Corea)

© by LITHA MUSIC / UNIVERSAL-MCA MUSIC PUBLISHING, A DIVISION OF UNIVERSAL STUDIOS, INC. Assigned for Japan to UNIVERSAL / MCA MUSIC K.K. Authorized for sale in Japan only.

CHICK COREA plays SOLO PIANO



EA

Π

ことも 権とな

ておい う。ま ック節

のプレ